



議会だより



国体に向け町ぐるみでポランティア 花いっぱい運動

第6号

もくじ

- ・ 6月定例会議案審議・
補正予算・陳情 …… 2～3
- ・ 一般質問 …………… 4～10
- ・ もっと知りたい三種町
あれ何となつてらつた …… 11～12
- ・ 春の叙勲・編集後記 …………… 12

発行:三種町議会
 編集:議会広報編集特別委員会
 〒018-2401
 秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地
 TEL (0185)85-4831 FAX (0185)85-2178
 URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>

6月定例会

平成19年度
補正予算

一般会計で5億1,169万7千円を追加
追加後の予算総額は

94億44万7千円になりました。

6月定例会の議案内容

平成19年6月定例会は、6月12日から6月14日までの3日間の会期で開催され、全て原案のとおり承認・可決した。

○繰越明許費報告

- ・H18年度三種町一般会計
- ・H18年度三種町公共下水道事業特別会計
- ・H18年度三種町介護保険事業勘定特別会計

○専決処分関係議案

- ・三種町町税条例の一部改正
- ・三種町国民健康保険税条例の一部改正
- ・※限度額を53万円から56万円に改正
- ・H18年度一般会計補正予算
- ・H19年度一般会計補正予算

- ・※「グリーンぴあ」町直営による予算の追加
- ・H19年度公共下水道事業特別会計補正予算
- ・H18年度温泉事業特別会計補正予算
- ・H19年度国民健康保険診療施設勘定特別会計補正予算
- ・※3特別会計は前年度歳入欠陥のため繰上費用

○条例関係議案

- ・三種町分収林に関する条例の制定

○人事関係議案

- ・三種町教育委員会委員の任命
- ・宮田 和子氏(再任)任期 4年

○その他の議案等

- ・三種町国民健康保険税条例の一部改正
- ・※介護分の引下げ
- ・三種町集落自治振興に関する条例の一部改正
- ・三種町農村公園設置に関する条例の一部改正
- ・三種町高額療養費資金貸付基金条例の一部改正
- ・正(800万円)
- ・三種町地域福祉基金条例を廃止する条例
- ・(381万5千円)
- ・三種町観光振興基金条例を廃止する条例
- ・(8,603万8千円)
- ・三種町地域総合拠点施設建設基金条例を廃止する条例
- ・(1億2万9千円)
- ・三種町図書館・資料館建設基金条例を廃止する条例
- ・(3,502万5千円)

平成19年度6月補正予算

| 区分 | 補正前の予算総額 | 追加補正額 | 補正後の予算総額 |
|-----------------------|-----------------------------|---------------------------------|--------------|
| ○一般会計 | 88億8,875万0千円 | 5億1,169万7千円 | 94億44万7千円 |
| 主な歳入 | 主な歳出 | | |
| ・基金繰入金 2億4,890万7千円 | ・納税貯蓄組合補助金 1,006万5千円 | ・山本地域活性化イベント実行委員会補助金 240万0千円 | |
| ・前年度繰越金 9,263万8千円 | ・社会福祉協議会補助金 2,000万0千円 | ・縄文ページント実行委員会補助金 130万0千円 | |
| | ・農地・水環境保全事業負担金 1,338万1千円 | ・ゆうぱる施設改修 1,200万0千円 | |
| | ・農地地図電算化整備業務 1,094万7千円 | ・小町房住線道路改良工事 7,918万9千円 | |
| | ・商工会運営費補助金 995万7千円 | ・財政調整基金積立金 1億5,500万0千円 | |
| | ・観光協会運営費補助金 168万5千円 | | |
| | ・サンドクラフト実行委員会補助金 500万0千円 | | |
| ○特別会計 | | | |
| 国民健康保険事業勘定特別会計 | 26億245万6千円 | △4,610万8千円 | 25億5,634万8千円 |
| 老人保健特別会計 | 26億9,895万7千円 | 4,245万9千円 | 27億4,141万6千円 |
| 公共下水道事業特別会計 | 9億6,802万5千円 | 160万6千円 | 9億6,963万1千円 |
| 介護保険事業勘定特別会計 | 16億5,437万9千円 | (歳出の組替)0円 | 16億5,437万9千円 |

陳情

| 件名 | 陳情者氏名 | 審査委員会 | 結果 | 理由 |
|--------------------------------|--|---------|----|--|
| 「日豪EPA・FTA交渉に対する」陳情書 | 能代労農市民会議 議長 宮腰 誠 | 議会運営委員会 | 採択 | 関税が撤廃されれば、我が国の農業が深刻な影響を受けることは必至であるだけでなく、農業関係産業や地域経済に大きな打撃を与えることとなる。よって採択とした。 |
| 公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する陳情 | 秋田建築労働組合 組合長 伊藤 和雄 秋田建築労働組合山本支部 支部長 丹波 正弘 | 議会運営委員会 | 採択 | 不況下における受注競争の激化により労務費が引き下げられ、現場で働く労働者に大きな影響を及ぼしている。建設労働者の適正な賃金が確保されるような公契約法制定の検討等は必要である。よって採択とした。 |

平成19年度

補正予算審議の内容

問 農地地図電算化整備委託業務1,094万7千円を計上しているが、その中身は。

答 山本地区のみ電算化されていなかった。公平な住民サービスのため、今回計上した。

問 水田台帳と農業台帳が合わなくて、集落営農立ち上げなどに非常に困っているが、この事業で来年度までに不一致が解消されるのか。

答 不一致の原因が特定できず、相対的時間と労力がかかるが、20年度の当初には合致するよう努めていく。

問 農業所得が落ち込む中、農地・水・環境事業のお金

が、農家・町民に生きてくる。集落営農組織の結成を条件としているが、組織の結成に向けて努力する団体にまで条件を緩和して山本地域振興局と協議すべきだ。

答 補助金欲しさで取り組んだ事業は、農政の中でほとんど結果を残していない。営農集落と農地・水・環境をセットでやってもらう事が、農業の体質改善につながる。

答 地域振興局と電話でやりとりしたが、農地・水対策事業は県の予算も確定し、すでに締め切っているとのことだった。

問 委員農地パトロール報酬36万円。何をパトロールし誰にどのように支払われるのか。

答 台帳整備の一環で、遊休農地、荒廃農地のパトロールをする。日当5千円で、農業委員36人×2回分を予算計上した。

※議会推薦の農業委員は3名いるが、報酬は必要ないのではないかと、検討を望む。

問 古紙回収費が不要となり、回収業者からお金が入るという事だが金額は。

答 18年度実績から見込んで300万円ほど見込んでいます。また業者とは3年契約を結んでいる。

問 社協補助金2千万円計上されたが、財政検討会では4千万円ほどと言われていた。今後更に追加補正されるのか。

答 町の財政事情もあり、社協に5千万円の保留財源もあるため、この金額で頑張ってもらいたいと社協会長に話し、理解していただいた。追加補正に関しては社協と協議しながら検討する。

問 町内の国民年金加入者、給付者の人数は。また2002年4月以前の年金台帳は保存されているのか。

答 本年4月現在、被保険者の合計は4,745人、給付者は18年3月末のデータで6,846件、額は39億8,300万円である。データ保存については100%残っているという状況にはない。個人的な問い合わせもあるが、残っている資料で確認していく。

問 広域圏組合負担金の消防費にかかる三種町負担分は、年間約4億2千万円という事だが、能代火力協力金7億円を広域消防費に使うよう要望すべきだ。

答 消防の通信システム一本化に相当お金がかかるが、それにこの7億円を使ってももらえないだろう。というのが郡部3首長の考え方である。火力協力金は広域の中で生かされるよう能代市長に申し入れをしたい。

問 コミュニティ助成事業150万円、この補助金はどうに使用されるのか。

答 宝くじ事業団からの助成で、今回は浜田自治会に補助され、小型除雪機3台の購入に充てられる。



清水 欣也 議員

農地・水・環境
保全事業を拡大
せよ

この事業の目的は、農地・農業用水等の資源やその他の農村環境を守るための共同活動を支援することにある。

その共同活動の主体としては、農家を中心にして自治会や学校PTAなど、地域のさまざまな人達で構成する集合体が想定されているものである。

しかし、町ではこの共同活動体は集落営農組織か集落営農組織を結成することを確約するものでなければならぬとしている。

このような条件を付

けたのは県内では三種町であり、このため、この事業の対象外とされた集落等の組織が多数に上っている。

この事業は、農地保全というねらいにとどまらず、環境保全や環境教育対策とも重なるものであつて、この観点からも共同活動を行う団体に集落営農組織化という条件をつけることは、国が求める本来の思想から外れた措置といわざるを得ない。

町はこうした取り扱いを見直し、本来の考え方に立ち返つて共同活動組織を増やし、県に対し計画面積の拡大を申請すべきである。

町の考え方には、共同活動組織に条件を付けなければこの事業を進められない合理的理由がない。

つまり、共同活動が国の考え方から外れて、集落営農組織でな

ければ実施できないとした理由はなにか。

答

町長 品目横断的経営安定対策と農地・水・環境保全対策は非常に重要で、今後の集落の経営を考えた場合、集落営農がまず軸にあるべきだ。

その集落営農を軸にして、農地・水・環境保全対策とセットにすることではじめて本来の農業の再生ができていくという考え方に立

っている。

だから、町の農業の将来を考えれば集落営農を推し進めてほしいということであり、この方向こそが本場の農業政策なのだという考え方をしている。

また、どちらかという、仕事の取り組みとしては農地・水・環境保全対策の方がつつきやすさがあり、そちらの方に集中するきらいがある。

だから、下手をする

とこの事業が雇用対策に終わってしまうことになりかねないという部分もある。

町のやりかたは他の市町村とは違つているが、将来のことを考えるとこのようなやり方が最も大事だと思つている。

市町村とは違つているが、将来のことを考えるとこのようなやり方が最も大事だと思つている。

問

事業の申請が既に締め切られていくというが、地域振興局は、町が方向転換し面積増の申請があれ

ば、本庁と協議してもいい、といつている。

この問題について、一度地域振興局と協議をしてみるようお願いする。

答

町長 議会での発言内容を伝えるとともに、問題になっている点について早急に地域振興局に問いただしてみることにする。

農地・水・環境保全共同活動組織と集落営農組織の結成状況

H19. 6. 25現在

| 区分 | 農地・水・環境保全組織名(集落名) | 集落営農組織 |
|------|-------------------|-------------|
| 琴丘地域 | 市野保全会(市野) | 市野地区営農組合 |
| | 浜鯉川保全隊(浜鯉川) | 鯉川営農組合 |
| | 中沢保全会(中沢) | 中沢営農組合 |
| | 上岩川中央保全会(上岩川中央) | 上岩川中央地区営農組合 |
| 小計 | 4 | 4 |
| 山本地域 | 志戸橋まもり隊(志戸橋) | 志戸橋集落営農組合 |
| | 自然と環境を守る会(泉八日) | 泉八日営農生産組合 |
| | ゲバ子の会(二ツ森) | △ |
| | | 藤木台営農生産組合 |
| | | 中野集落営農組合 |
| | 小町集落営農組合 | |
| 小計 | 3 | 5 |
| 八竜地域 | 安戸六まもり隊(安戸六) | △ |
| | 久米岡環境保全隊(久米岡) | 久米岡集落営農組合 |
| | うかわ農水会(鶴川) | △ |
| | 大曲ほたるの会(大曲) | △ |
| | 沢目がんばり隊(沢目地区) | △ |
| | 萱刈沢まもり隊(萱刈沢) | △ |
| | アグリ芦崎 | |
| | 追泊集落営農組合 | |
| | 八竜アグリサービス | |
| 小計 | 6 | 4 |
| 合計 | 13 | 13 |

注)「集落営農」欄の△印は、5年以内に集落営農組織に取り組むことを確約した団体。



平賀 真 議員

児童、生徒の学習レベルは

問

先般、小学生、中学生を対象とした全国統一試験が実施されたが、結果が出ているのか。今後の指導にどのように生かされるのか。

答

教育長 9月に教育委員会、各学校に結果が提供される。調査結果を分析し、学力・学習状況を把握し、改善に役立たせていく。

問

三種町の児童生徒の学習レベルは、どの程度か。他の市町村との比較は。

答

教育長 毎年、県教育委員会による学習状況調査が行われているが、調査結果は町管理下の学校の結果のみ提供され、他の市町村の結果は分からない。平成18年度においては、小学校は8校とも県平均を上回っているが、中学校は残念ながら努力が必要である。小中共に家庭学習時間が県平均より少なく、特に中学校が少ない。各学校とも弱点克服に向け努力している。

幼児教育に対する町の取り組みは

問

幼児（0歳から未就学児）の教育、保育に対する町の考えを伺いたい。山本・琴丘地域は町立保育園、八竜地域は私立の幼稚園・保育園で幼児の教育並びに保育が行われている。文科省

答

町長 幼稚園・保育園とも法人なので双方の話合いの結果を尊重していきたい。議会の理解を得ながら新施設建設には町が大幅に負担すべきと考えている。

答

教育長 保育と教育と一緒に提供して幼児教育のレベルを上げていくことは時代の流れであり、正しいことだと思う。保育の中に幼稚園的な教育要素をより取り入れていくことが、一番妥当で堅実な対策と考えている。

答

いきいき健康課長 保育を中心とした中に幼稚園教育も取り入れた形が一番良いのではと考えている。少子化が進む中で保育業務、幼児教育の大事なことは認識している。



みんな一緒に3B体操（鵜川保育園）



宮田 幹保 議員

防災計画

問

三種町防災計画が制定されたが、大きな災害が発生した場合このマニュアル通り事が進むか心配だ。まずは役場職員が

答

町長 計画書のダイジェスト版を全戸配布しているが、それで終りという事ではない。ご指摘の通り絵に描いた餅にしないようにする。職員はいつも危機感を持ち自分のポジションをきちんと踏まえながら、防災に対する役割・認識など各課長を通してきちんとさせる。



防災想定合同訓練

流通備蓄

問

当町の災害に対する備蓄が極端に少なく心もとない。現在は流通備蓄という方法があり、県内では6〜7市町村で実施している。備えあれば憂いなし。今後当町でも町内業者を通じて流通備蓄を考えてはどうか。

答

町民生活課長 現在はたしかに備蓄は少ない。流通備蓄については商工会等との話し合いが必要と思う。その方向で進めていく。

総合計画の事業実施見直しと課題

問

19年度以降の事業実施計画はどのようなことなのか。緊急を要する事業を優先していくとの事だが、緊急性のある事業とは

何か。その他の事業については、先送りあるいは見直しをすると理解すべきか。

答

町長 19年度の優中、これは優先・これは場合によって先送りなどの区別はつけていない。今後状況の変化、財政面を見て判断するので、計画通り実施できない事も考えられる。松くい虫防除などは緊急性が高いと考える。

財政

問

現在当町の実質公債費比率は20・3%で県内ワースト2である。町長は任期中18%台にすると考えているようだが、どういう方法でどのようにしていくのか。

答

町長 現在経常収支比率が98%で自由に使えるのは

町内企業・商店の育成

問

役場や町の施設では消耗品や備品・記念品などの物品を町内業者や商店からすべて調達すべきである。三種町に納税しての方々を、最優先すべきだ。

答

町長 競争原理というものをどこまで取り入れるかなどがあり、地元優先という事はわかるが、その兼ね合いが難しい。

答

総務課長 備品、記念品などについては地元業者を最優先に考えている。今後

も極力地元業者の育成という事も含め対応していく。

公用車「車検、整備」

問

町内業者が、合併以前のように公用車の整備や、車検が受注できなくなっているという事と聞く。現状はどうなっているか。また、当町には消防車など含め公用車は何台あるのか。

答

総務課長 指名願いが出ている業者に限り発注している。5月現在町内で車検等の整備工場は6社しか出ていない。したがって郡市内の方にも出さざるを得ない。今後指名願いを出すように指導していく。公用車は現在約170台である。



堺谷 房子 議員

飲料水の確保を

森岳小学校の水は配管腐食のため飲料水には適さず、子ども達は毎日水筒を持参している。かつて山本町時代、改善しようと3百数十万円の浄水器を取り付けたが、工事引渡し直前に、この浄水器が偽物で、架空会社と契約していたことが判明し、直ちに撤去した経緯がある。以来、数年にもわたり水改善のための処置は施されていない、保護者からは、「水筒を忘れた子どもは一日中水を飲めずにいる、なんとかならないか。」との要望がある。

り、その度ごとに担当者へはお願いをしていたが、改めてお尋ねする。

問

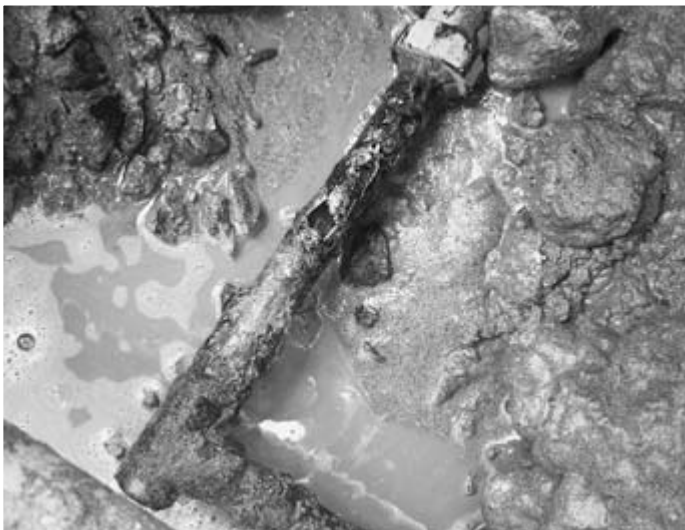
改善策を考えたもらえるのか、考えられないのか、考えてもらえらるとしたら、どのような内容で、いつ頃、どうしてくれるのか。全部の改善となると私の概算では数千万円はかかると思うが、財政的に無理であれば、せめて飲料水の分だけでも新設してほしい。数十万円でするはず。塩分の強い水を長年鉄管で供給、それが腐食し最悪の状態が続いている。合併直後改善を要する諸問題が噴出し、大変なことは十分承知しているが、なにせ子供の育成のことなので最善をつくしてほしい。

答

副町長 森岳小学校の水について、全面的に改修するとなると、数千万円もかかると思う。昨年の予算で、森岳小学校や他の小中学校の改修等について調査している。今回の補正予算で飲料水の確保のため修繕をする。補正の校舎改修工事費175万6千円の中に含まれている。直接工事する部分だけの計上なので額が少ない。

答

教育次長 全体の配管を改修すると2千数百万円かかる。今回は飲料水確保のため各階の水飲場へ直接管を結ぶことにした。予算可決後、速やかに工事を行いたい。



腐食した配管



毎日持参の水筒



大澤 和雄 議員

山本町庁舎建設基金1億円の趣旨

問

今議会で、三種町地域総合拠点施設建設基金条例を廃止するとした議案が提案されている。この条例は山本町役場基金条例を廃止し、合併後、庁舎の安全性という面からも早急に整備する必要があることから設置したものである。基金設置の趣旨をどのように受けとめているのか。

答

町長 大変大事な基金だという認識は同じである。しかし、財政難を切り抜けていくために今ある蓄えを町全体の使途に使わせていただく

い。余裕が出てきたとき、新たにいろんな基金を積み上げていきたいと思っっている。

街頭の修繕・設置

問

町内の街灯が消え、危険なので早く修繕してほしいと役場に連絡してもなかなか付けてくれない。防犯上迅速な対応が必要と考えるがどうなっているのか。

答

3地域統一した管理対策はどうするのか。鉄柱の腐食等により撤去された街灯の設置はどうするのか。

町長 街灯は事犯上、最低限度は必要だと考える。街灯の管理状況が3地域とも異なっているので自治会と相談しながら集落内は自治会といった統一した方式を導入していきたい。



大町地区の街灯

答

町民生活課長 撤去された街灯はコンクリート柱を取り付けていきたい。できれば、現在ある鉄柱もコンクリート柱、または電柱に順次移し変えていきたい。

多重債務者への対応は

問

町税、各種使用料の滞納者の中に、サラ金等から借り入れ多重債務に陥っているケースが多いと思われる。県生活センターでは秋田県でサラ金

利用者14万人、その内多重債務者が2万人となっている。滞納の回収率向上のためにも多重債務の相談等も合わせて行うべきである。

答

税務課長 プライバシーもあり掘り起しが課題だが、弁護士・町が連携して対応していく。

19年度産米の生産調整

問

農協、集荷業者等の認定方針作成者の該当にならない農家、つまり承諾書の同意を得られなかった農家へは生産目標数量目標面積、転作面積が配分されていない。今後は、集落営農に参加するか4ha以上の担い手農家でなければ何の支援も受けられなくなる。そのため、自己責任において生産販売する農家が出てくること

が予想される。このままでは米の過剰と米価の暴落が懸念される。町として今回の配分方針をどのように考えているか。

答

農林課長 配分については水田農業推進協議会で実施している。農協・集荷業者に登録されていない農家が増えていくという現実だが、制度上やむを得ない措置であると考えている。ただ、大変憂慮すべき事態である。米政策改革推進対策への理解不足もあられると思われるので、情報提供に努めるとともに、地域連帯感を保つためにも行政として事にあたっていきたい。



金子 芳継 議員

グリーンぴあの運営

問

指定管理者制度の目的は「住民ニーズに効果的、効率的に対応する。経費の縮減等を図る」。公募し、選定委員会を開き決定された当局案が、3月議会で否決された。今後のグリーンぴあの管理運営は。また、選定委員会のあり方は。

答

町長 グリーンぴあは、管理運営にあたる者がいなくなり、今は暫定的に町が直営している。

答

副町長 その後生産組合の方々は、法人化を目指して

頑張っている。私共も歓迎している。この方々が実際にレジにも立っているし、販売額も段々上がっている。選定委員会の委員は、役場職員の外に、学識経験者が二人以上とされているが、今後は学識経験者を増やす。

問

グリーンメッセ 縄文の会の方々が、積極的に頑張っている姿を私も見てきた。今後管理運営を希望するのであれば、委員の意を汲んで、まかせの形にしたらどうか。また、ビニールハウス等年間を通して農産物を生産できる支援をすることを考えるか。



品揃えが豊富になったグリーンぴあ

答

町長 町直営はあくまでも暫定的である。制度上、今後改めて公募し選定する。特産物栽培などJAとも協議し、琴丘地域にもさらに意欲が芽生えるように、生産基盤の強化に努めていく。

公共工事と物品の入札制度

問

これまでの最低制限価格制度を改め、入札した金額に応じて基準の金額が変わる、変動型低入札価格調査制度の実施について、指名審査会でも19年度は見直しすると聞いていた。どういう内容か。また物品の入札に対しての指名、格付等については。

答

副町長 変動型低入札価格調査制度の概要については、入札時において予定価格内で入札した最低入札者の価格が、調査基準を下回った場合、その者を自動的に、落札者とせず一旦その入札を保留して調査後に落札者を決定する。

答

総務課長 物品入札の制度は自己資本額と従業員数販売実績等でABCのランク付けがある。
・Aが80万円以上
・Bが60万円〜80万円迄
・Cが60万円以下
です。指名額は随時受付をしている。

金子

最近の入札は競争意識だけ残るような状況である。業者の育成、物品納入に対しても、地域経済の振興等を考慮して頂きたい。また、今回の見直しについても状況が変化する事もある。その節は審査会を開催し問題点には十分に配慮して頂きたい。

①調査基準価格を、最低入札者から5番目までの5社の入札価格の平均値の90%とする。
②予定価格の範囲内の入札価格で調査価格を下回った者は失格もありうる。
変動型低入札価格調査制度というのは、国でダンピング防止の方法として認めている制度である。三種町のやり方は、入札価格がいくら下がってもいいという事ではなく純粋な費用をベースに一定のレベルを考えている。



伊藤 千作 議員

国保税引き下げを

問

3月定例会で、国保税の引き下げについてできるだけ新年度で下げる方向で考える旨の答弁であった。

今回の提案は、国保の介護分は引き下げを行う予定だが、医療費分も引き下げるべきだ。

答

町長 農業所得等の大幅な減少では、税率を引き上げるを得ない状況となった。一般会計から、300万円あまり繰り入れを行い、税率を据え置くことにした。

保険証の取り上げ中止を

問

「悪質滞納者」に限るとしたものを2004年4月から、滞納が一年を過ぎると正規の保険証に変わって資格証明書を発行している。

「資格証明書」になると窓口で全額支払わなければならない。保険料を払えない人に医療費全額は準備できるはずはない。これは事実上の保険証の取り上げを意味する。保険証の取り上げを中止できないか。

答

町長 資格証明書等交付要綱に基づき、滞納世帯の生活実態などの把握に努めながら助言、指導を行い、弁明の機会を与え、納税について理解を求めている。

答

納税相談の中で納付計画書とかが出た場合は、保険証を渡すなど、柔軟に対応している。

頭首工の改善を

問

琴丘地区種沢川川岱第一頭首工の改善を、一回工事をやったが不十分だったのか、間から水がもれ役割をはたしていない。早急の改善を県へ働きかけるべきだ。



水漏れ頭首工

答

建設課長 現地を確認してきていく。早速、県へ要望した。

軽度生活援助事業

問

一人暮らしや高齢者に対して軽易な日常生活上の援助を行い、おおむね65歳以上の単身世帯、高齢者のみ世帯が対象で、雪下ろしや除排雪、家屋などの軽微な修繕及び修理など、対象者の希望や状況に応じて行う制度の実施を。

答

いきいき健康課長 事業の必要性やニーズを考えながら、実施町村の情報も集め、総合的に検討する。

転作田に菜の花作付けを

問

国からの転作奨励金を活用し、景観作物に指定。転作用に菜の花の作付けをしている町がある。

収穫した菜種から菜種油が採れ、町民はてんぷら油として使い、廃油からバイオディーゼルを精製し、公用車等に使っている。当町も取り組みを。

答

農林課長 バイオエタノールと合わせた、転作物の大転換も、今後図られる可能性が大きい。本町でも関心が高まっている。今後取り組んでいければと思う。

答

教育長 実施するよう働きかけは、本町では現在全くない。もし、要請があれば十分に調査し、公正適切に対処する。公の学校に特定のイデオロギーや、政治的立場等を持たむことは絶対避けなければならない。

問

日本の侵略戦争を「自衛、アジア開放のための戦争」

**DVD(誇り)使
用すべきでない**

戦後日本の国際社会復帰の原点と戦争の痛苦の反省から生まれた日本国憲法の精神を否定するものであり、当町として絶対に使用すべきではない。

もっと
知りたい三種町

あれ何となつてらった

第3セクター 決算

今回は、(株)ゆめろんと(財)山本開発公社・(財)ことおか観光開発公社の18年度(18・4/1~19・3/31)の決算状況について特集します。

(株)ゆめろん ○ゆめろん ○多目的健康広場(ゆめっぴい)の管理運営を行なっている。

■ 運営状況

| | 18年度 | 17年度 | 増減(率) |
|-------------|-----------|-------------|-------------------|
| 有料入館者数 | 20万2,135人 | 20万1,083人 | 1,052人増 (0.5%) |
| 宿泊者数 | 6,208人 | 6,377人 | △169人 (△2.65%) |
| ゆめっぴい(利用者数) | 1万7,526人 | 1万6,618人 | 908人増 (5.46%) |
| 総売上高 | 2億7,863万円 | 2億8,253万3千円 | △390万3千円 (△1.38%) |

景気回復の遅れ等により宴会部門の売り上げが前年比711万1千円減となった。

■ 決算状況

| 収 入 | 支 出 |
|--------------------------------------|---|
| 総売上 2億7,862万9,874円 雑入等 522万3,433円 | 仕入高 8,814万9,593円 販売費及び一般管理費 1億9,457万9,379円 |
| 計(A) 2億8,385万3,307円 | (B) 2億8,272万8,972円 |

総売上には、ゆめろん・ゆめっぴいの指定管理料(3,000万円強)が含まれます。また、ゆめろんは18年度分入湯税19万2,908人×150円=2,893万6,200円を町に納入しています。

税引前利益(A)-(B)=112万4,335円 前期繰越利益 1,426万6,148円
税引後利益 57万1,458円 1,483万7,606円を次期に繰越し

※入湯税とは

鉱泉浴場における入湯客に課する税(町税)で、1日150円。三種町では12才未満の者や修学旅行者等には課せられません。17年決算においては5,200万円以上の歳入がありました。

(財)三種町山本開発公社

○健康保険センター「ゆうぱる」 ○山本観光物産センターの管理運営を行なっている。

■ ゆうぱるの運営状況

| | 18年度 | 17年度 | 増減(率) |
|-------|--------------|--------------|-------------------|
| 総入館者数 | 14万5,513人 | 15万 640人 | △ 5,127人 (△3.4%) |
| 宿泊者数 | 2,215人 | 2,310人 | △ 95人 (△4.1%) |
| 総売上高 | 6,871万6,185円 | 7,147万7,157円 | △276万972円 (△3.9%) |

入場者減により
入館料 △270万円
売店売上 △130万円
(自衛隊射撃場工事終了が大きな要因と考えられる)

■ 山本開発公社の決算状況

| 収 入 | 支 出 |
|---|--|
| 総売上高 6,882万5,149円 雑入他 5万2,421円 他会計繰入金 60万7,000円 運営委託料 2,395万2,000円 補填補助金 1千円 0円 | 仕入高 1,482万 620円 販売費及び一般管理費 8,324万 452円 (入湯税含む) |
| 計(A) 1億 343万6,570円 | (B) 9,806万1,072円 |

※ゆうぱるは老朽化に伴う修繕費の拡大(夏期冷房機レンタル料含む)により510万円の赤字。前年度分550万円合わせ1,060万円を町からの補助金等で解消した。

※運営委託料は、16年度を基準に算定されています。総売上には入湯税2,068万1,700円が含まれ、町に納入しています。

※冷暖房機は7月中旬までに改修される。

当期利益(A)-(B)=537万5,498円 前年度赤字分 328万3,132円
209万2,366円を次期に繰越し

[【次頁へつづく】](#)

(財)ことおか観光開発公社

○サンバリオ 道の駅 ○グリーンぴあ ○パレス琴丘
○はねがわ湖水館 ○キャンプ場 ○ぼうじゅ館 ○コテージ村
の管理運営を行なっている。(グリーンぴあは現在町直営)

■ 運営状況

| | 利 用 人 数 | | | 利 用 料 | | |
|---------------|----------|----------|-------|------------|------------|------------|
| | 18年度 | 17年度 | 増 減 | 18年度 | 17年度 | 増 減 |
| パ レ ス 琴 丘 | 1万2,636人 | 1万2,945人 | △309人 | 28万2,600円 | 30万 870円 | △ 1万8,270円 |
| は ね が わ 湖 水 館 | 4,350人 | 5,201人 | △851人 | 3万7,650円 | 4万 750円 | △ 3,100円 |
| キ ャ ン プ 場 | 102人 | 134人 | △ 32人 | 1万6,250円 | 1万7,730円 | △ 1,480円 |
| ぼ う じ ゅ 館 | 3,679人 | 3,319人 | 360人 | 1万4,200円 | 8,050円 | 6,150円 |
| コ テ ー ジ 村 | 658人 | 789人 | △131人 | 116万3,820円 | 152万8,800円 | △36万4,980円 |

| | 18年度 | 17年度 | 増 減 (率) |
|-------------|--------------|--------------|----------------------|
| サンバリオレストラン | 5,123万7,639円 | 5,262万 981円 | △138万3,342円 (△2.63%) |
| グリーンぴあ (直売) | 3,650万2,878円 | 3,333万4,247円 | 316万8,631円 (9.51%) |
| グリーンぴあ (物販) | 2,663万2,981円 | 2,720万2,298円 | △ 56万9,317円 (△2.09%) |

レストラン部門は宴会の減が主たる理由と考えられる。

■ 決算状況

| 収 入 | 支 出 |
|----------------------|-------------------------|
| 総売上高 1億2,331万3,485円 | 仕入高 7,872万8,776円 |
| 雑入他 8万 785円 | 販売費及び一般管理費 4,158万6,210円 |
| 町補助金等 3,495万3,026円 | 管理費 2,150万7,545円 |
| | 事業費 1,237万1,587円 |
| | 諸支出金 39万2,040円 |
| 計 (A) 1億5,834万7,296円 | (B) 1億5,458万6,158円 |

税引前利益 (A) - (B) = 376万1,138円
 税引後利益 295万9,638円
 前期繰越利益 929万8,986円
 1,225万8,624円
 を次期に繰越し

**春の叙勲で
元三種町議会議員が旭日双光章を受章**



金子孝治氏
(78歳・大口)



佐々木林市氏
(71歳・久米岡)

平成19年4月29日、春の叙勲受章者が発表されました。元三種町議会議員の金子孝治氏（地方自治功労）と佐々木林市氏（土地改良事業・地方自治功労）が、それぞれ旭日双光章を受章しました。

編集後記

いつもだと、雨にぬれた紫陽花が、目に飛びこみ、梅雨時を実感させられます。

今年は、梅雨入りもおそく雨も少ない。それにしても、少雪、田植時寒さ等、異常気象が続きます。

合併して、一年余がすぎました。議員も旧三町の様々な議会運営のちがいを経験して、よりよい方向にむけて取り組みが進んでおります。

6月定例会は6月12日から14日までの3日間行われ、一般質問者は7名で活発な議論がなされました。

傍聴する方も初日、2日目と10名前後にのびりました。3月定例会の連日傍聴席が満席とはいかないけれど、住民のみなさんの参加が議会の空気をひきしめます。

9月定例会も多数の方々の傍聴を期待致します。

伊藤千作 記